

「えどがわ推しPR隊事業支援業務委託」に係るプロポーザル【質問及び回答】

令和7年4月15日

No.	区 分		質 問	回 答
1	仕様書	3(2)	仕様書3（2）に記載の【令和7年度登録見込】に関しまして、「第1期・第2期：47人」の内訳（期別の人数、性別、年齢等の構成）について、差し支えない範囲でご教示いただけますでしょうか。	期別の人数は、第1期24人、第2期23人です。 その他の構成データは公表しておりません。江戸川区ホームページの「えどがわ推しPR隊」ページや「広報えどがわ令和6年11月1日号特集記事」、えどがわ区民ニュース「#えど推し」で登録メンバーの状況をご覧ください。
2	仕様書	4(1)	仕様書4（1）に関しまして、養成企画の開催場所について、区による指定があるか否かを確認させてください。また、オンラインでの実施も想定されていらっしゃるかどうか、併せてご教示ください。	養成企画は区の指定する会場において開催します。会場の確保及び経費負担は区において行います。 また、区の魅力発見と発掘をテーマとして意見交換や交流を深めるワークショップは対面形式を想定しています。養成企画全体として、オンラインとのハイブリッド形式や一部オンラインでの実施をすることは提案により可と想定しています。
3	仕様書	4(2)	仕様書4（2）に記載の「相談対応」「分析」等の支援業務につきまして、これらの対象に【第1期・第2期】の登録メンバーも含まれるかどうか、ご教示ください。	第1期・第2期の登録メンバーも含まれます。
4	仕様書	4(2)	・メンバー投稿及び区公式アカウントの投稿に関する分析を行い、専門知見に基づいた助言及び分析報告を月1回程度行う。 →こちらのメンバー投稿に関しては、各メンバーの申告制ということでしょうか？	分析の対象は、全ての登録メンバーが「#えど推し」のタグ付けをした投稿です。投稿に関する申告制は、具体的な分析手法にかかる提案によるものとして、実施については協議することとします。 なお、えどがわ推しPR隊メンバーの募集及び登録においては、投稿に関する申告や情報提供は必要条件としていません。
5	仕様書	4(2)	分析に関しまして、フェイスブックとの連携はしておりますでしょうか？	フェイスブックとの連携はしていません。